



この本では、英語を読んだり聞いたり、話したり書いたりする上で最低限知っておきたいルールだけを勉強します。だから、英語が苦手だと思っている人も、心配せずにページをめくってみてください。「たったこれだけでいいの?」「こんなに簡単でいいの?」と思う人もいるかもしれませんが、大切なことは、「ルールをどれだけ知っているか」ではなく、「どれだけ使いこなせるか」です。ルールの基本をすばやく身につけて、どんどん英語を使うようにしましょう。

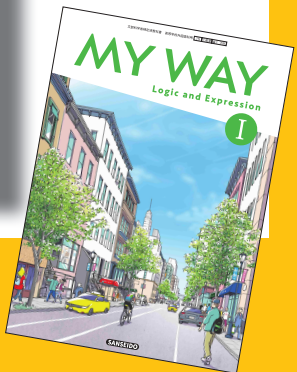
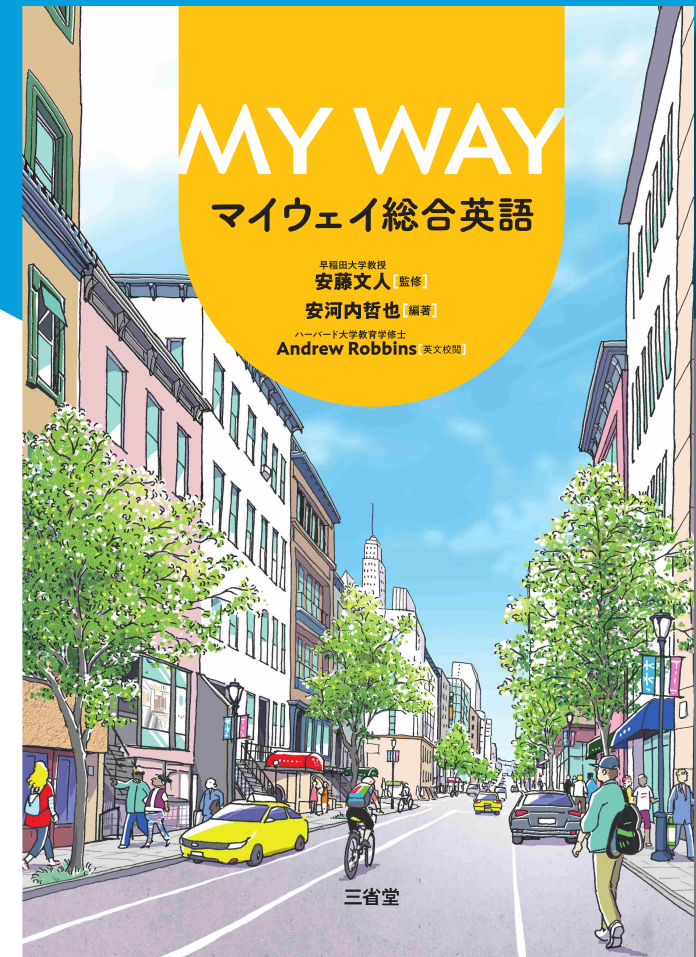
編者 安河内哲也

▶ 「論理・表現」教科書『MY WAY Logic and Expression I』と『マイウェイ総合英語』の対照表 ◀

MY WAY Logic and Expression I			マイウェイ総合英語			
レッスン	パート	文法事項	章	文法事項		
Lesson 1	Part 1	現在形 (be 動詞)	1	動詞の種類と時制①		
	Part 2	現在形 (一般動詞)				
Lesson 2	Part 1	過去形 (be 動詞, 一般動詞)				
	Part 2	現在進行形、過去進行形				
Lesson 3	Part 1	未来表現 (will, be going to ~など)			2	動詞の種類と時制②
	Part 2	基本時制 (現在形, 過去形, 未来表現) のまとめ				
Lesson 4	Part 1	現在完了形① (完了/経験)			3	助動詞
	Part 2	現在完了形② (継続), 現在完了進行形				
Lesson 5	Part 1	助動詞 (can, may, must (have to), should)			4	受動態
	Part 2	受動態				
Lesson 6	Part 1	不定詞① (名詞的用法, 形容詞的用法)	5	不定詞		
	Part 2	不定詞② (副詞的用法など)				
Lesson 7	Part 1	動名詞	6	動名詞		
	Part 2	分詞による後置修飾, 分詞構文				
Lesson 8	Part 1	比較① (比較級)	7	分詞		
	Part 2	比較② (最上級, 同等比較)				
Lesson 9	Part 1	関係代名詞① (who, which, that (主格・目的格))	8	比較		
	Part 2	関係代名詞② (目的格の省略, whose, what)				
Lesson 10	Part 1	関係副詞	9	関係詞		
	Part 2	仮定法				
			10	仮定法		

MY WAY マイウェイ総合英語

四技能時代にふさわしい、 真の『総合』英語誕生!



「論理・表現」教科書 『MY WAY Logic and Expression I』と連動!

- 判型 A5判 304頁 (予定)
- 本文 4色刷
- 予価 1,320円 (本体 1,200円+税 10%)
- 2022年2月刊行予定 ●学校採用品

付属品 (予定)

- 自動問題作成プログラム
- 例文データ (Wordファイル)
- 例文・練習問題アプリ (「ことまなS」)



三省堂

本社 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 電話 03-3230-9411 (編集)・9412 (営業)
 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 電話 06-6341-2177
 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 電話 092-531-1531
 三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>



三省堂

第一部 文法編

イラストや図解を多用したわかりやすい紙面

マンガやイラストで、学習するポイントが一目でわかります。

『MY WAY Logic and Expression I』との共通例文を含みます。

書くため、話すために本当に必要な文法事項だけにフォーカス！
使用頻度の低い項目は割愛し、高校生が身につけるべき最重要項目のみを取り上げました。
大学入試にも十分対応できます。

動詞の種類と時制①

はじめに

1 be動詞と一般動詞

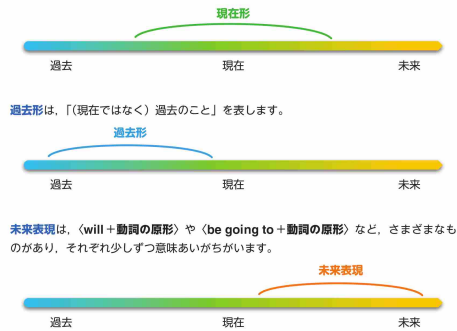
動詞には、**be動詞**と**一般動詞**があります。be動詞は、主語により形が変わります。

be動詞	現在形: am, are, is 過去形: was, were 原形: be
一般動詞	それ以外のすべての動詞

2 時制

英語では、現在・過去・未来など、表す「時」によって動詞の形が変わります。このしくみを**時制**といいます。現在形や過去形、そして未来を表す表現などがあります。

現在形は、現在の状態や習慣を表します。今の瞬間だけではなく、過去から続き、未来も続いていくことや、時に関係なく成り立つことを表すのが基本です。



It's lunch time. I'm happy! (お昼が嬉しいな！)

Where is my doughnut? (ぼくのドーナツはどこ?)

This is my doughnut. (これは私のドーナツよ。)

Is this your doughnut? (これは君のドーナツかい?)

My doughnut is gone! (ぼくのドーナツはなくなった！)

Oh, this is delicious. (ああ、これはおいしいね。)

Max, that's not good for your health. (マックス、健康によくはないわよ。)

先生のワンポイント
主語や動詞が表す「時」が変わると、動詞の形が変わります。

6- 現在進行形

I'm [I am] writing an essay about my family. (私は家族について論文を書いています。)

It isn't [is not] raining hard. (雨は強く降っていません。)

Are you listening to me? (私が言っていることを聞いていますか。)

1- 現在進行形の形

① 平綴文: 現在進行形は、「am [are, is] + 動詞の-ing形」で表します。

2- ing形の作り方

原形	ingをつける	buy-buying, find-finding
eで終わる動詞	eを取ってingをつける	come-coming, give-giving
ieで終わる動詞	ieをyに変えてingをつける	die-dying, lie-lying
(短母音+子音)で終わる動詞	最後の子音を重ねてingをつける	cut-cutting, begin-beginning
cで終わる動詞	kingをつける	picnic-picnicking, panic-panicking

② 否定文: 「am [are, is] + not + 動詞の-ing形」で表します。
③ 疑問文: 「Am [Are, is] + 主語 + 動詞の-ing形 + ?」で表します。

2- 現在進行形の主な意味

① 現在進行中の動作

① Ken is cooking dinner. (ケンは夕食を作っています。)

現在形のKen cooks dinner. (ケンは夕食を作ります。)
が現在の習慣を表すのに対して、現在進行形は「今作っている最中である」ことを表します。

② 動作の反復

① Someone is knocking on the door. (だれかがドアをたたいています。)
② She is always making mistakes. (彼女は間違いをばっかりします。)

現在進行形にalways (いつも) やoften (よく) がつくると、話し手のいらだちや不満を表すことがあります。

3 変化の過程

① The girl is growing tall these days. (その少女はこの頃背が伸びています。)

【動作】と【状態】

動詞は、主に「動作」と「状態」の意味を表します。動詞が「長く続く状態」を表すときは、原則として進行形にはしません。
① × I am knowing his brother. ○ I know his brother. (私は彼の兄を知っています。)

短時間にやったりやめたりすることができるのが「動作」、できないのが「状態」です。

ただし、「一時的な状態」や、「変化の過程」を表すときは、進行形にする場合があります。

① At present, Miyuki is living at her aunt's. (みゆきは今はおばあちゃんに一緒に住んでいます。)
② You are not being fair. (君は(いつも)は違うけれど、今はフェアじゃない。)
③ She is resembling her mother. (彼女は母親に似ています。)

なお、動詞の中には、「状態」の意味しか持たないもの、「状態」の意味と「動作」の意味を両方持つもの、「動作」の意味しか持たないものがあります。

① 状態の意味しか持たず、原則として進行形にしないもの

belong (所属する) like (好きである) understand (理解する) など

① I belong to the art club. (私は美術部に所属しています。)
② I like your shoes. (あなたの靴が好きです。)

② 状態の意味と動作の意味を両方持つもの

have (持つ) [状態] / 食べる・する [動作] look (見る) [状態] / 見る [動作] など

① I have two brothers. (私は兄弟が二人います。 [状態])
② He is having dinner. (彼は夕食を食べています。 [動作])
③ She looks fine. (彼女は元気そうに見えるよ。 [状態])
④ Everyone is looking at you. (みんなが君を見ているよ。 [動作])

③ 動作の意味しか持たないもの

eat (食べる) write (書く) など
① I don't eat meat. (私は肉を食べません。)
② My father is writing a letter. (私の父は手紙を書いています。)

『MY WAY Logic and Expression I』との共通の登場人物。

第二部 四技能習得のポイント編

リスニング力・スピーキング力の鍛え方を体系的に解説

リスニングやスピーキングの基礎となる発音やイントネーション、音変化についてもていねいに解説。

「こまなS」で音声を提供。

① /θ/: they, that, other, with
上下の歯の間から舌先をのそらせて、すきまから空気を出す子音です。音としては喉にNに似ています。

② /r/: right, raise, rich, arrive, story
アメリカ発音では、母音/a/の横入れからすぐに次の母音に移ることによってこの音になります。イギリス発音では舌先をのそらせて上下の歯の間から空気をだすことで次の母音に移ります。どちらの場合も、日本語の「ら」のように、舌先が上の歯茎に触れることはないので注意してください。

③ /l/: light, lake, believe, follow, goal, belt
口の周りに舌先を上唇の裏の溝につけますが、舌で示されているように舌が同じように舌先を出しています。この状態から次の母音に移ると「ら」のような音になります。/l/ との違いに注意してください。

④ /t/: think, thousand, anything, math & /s/: see, set, message, bus
上下の歯の間から舌先をのそらせて、すきまから空気を出す子音です。/t/ のような鋭い音にならないように注意してください。唇ははちむらうの形に閉じています。/t/ は舌先が強く舌の裏に当たります。

リーディングや英作文のコツをわかりやすく説明

文法の知識をリーディングやライティングにどう活かせばよいか、さらにパラグラフ・リーディングやパラグラフ・ライティングについても触れています。高校生の英語学習全般を強力にサポートします。

① スラッシュリーディング
多読を行う上で大事なのは、英文を語から理解できるようにすることです。英語と日本語では語順が異なります。たとえばSVの文構造を日本語にすると、「SがOをVする」と、述語動詞と目的語がひっくり返ります。精読のときは、このように日本語の語順に合わせて意味を確かめていきます。これは英文文法に慣れるのに時間がかかってしまい、長文読解が難しくなる原因です。したがって、多読をするには、白話から英語の語順のまま意味をとらえる訓練をする必要があります。その訓練をするのによいやり方が、スラッシュリーディング(区切り読み)です。スラッシュリーディングは意味のカマカマリごとにスラッシュ(/)で区切って読んでいく方法です。

I didn't realize what she meant until a few minutes ago.
日本語に直訳すると、「数分前まで、彼女が何を言っていたのかわからなかった」と後ろから動詞に戻ってきます。しかし、スラッシュリーディングでは、次のように区切りを入れて、前から理解していきます。

I didn't realize / what she meant / until a few minutes ago.
気づかなかった / 何を言っていたのか / 数分前まで

スラッシュを入れる目安は、以下のとおりです。

- SVOCなどの要素が長くならないように。
- Researchers in Germany / have found out / that controlling our dreams may be possible. (ドイツの研究からは、つとめた、私たちの夢を制御することは可能かもしれない)
- 前置詞や接続詞の前で。
- They say / that using a specific frequency / can induce lucid dreams. (彼らは言っている、特定の周波数を用いると、顕在夢を誘発させることができる)
- カマカマやハイフン、コロンのある位置で。
- The outcome of the study / would help us understand human consciousness better, / and may be helpful / in discovering treatments / for certain mental illnesses. (その研究の結果、私たちの意識の理解をよりよく助けることができると考えられており、それによって特定の心身の病気を治療する手助けをするかもしれない)

② 多読・速読
これまで精読について見てきましたが、明らかに読解や理解が生じないように読解を正確に読めることができれば十分です。読解が分かる範囲で完璧に分かる必要はありません。9割以上、意味を理解することができるところでよしとして、リーディングの速度をあげることに重点を置きましょう。

多読、あるいは速読とは、多少の単語や表現がわからなくても、前後から推測しながらどんどん読み進めていく読み方のことを言います。精読の場合よりも、新しく興味を持ちやすい内容の英文を、音読に読書をする感覚で音読的に読んでいくのが多読です。

精読を学習している英文よりも、ずっと簡単なものを選びます。
- わからない単語をすぐに調べるのではなく前後の意味から推測する。
- 自分で題材を選べるときは、読めない、面白くないと思ったら別の文法に戻す。